

平成18年度

グリーン物流パートナーシップ事業概要



【事業の名称】

商品納入後の帰り便を利用した調達物流（商品価格と物流費の分離）を鉄道及び海運にモーダルシフト等を行うことによるCO₂削減

荷主企業（幹事）

香川松下電工(株)

物流事業者

海運モーダルシフト...**(株)朝日通商・ジャンボフェリー(株)**

鉄道モーダルシフト...**日本通運(株)・日本貨物鉄道(株)**

取扱貨物

住宅設備建材商品及び原材料

事業概要

複数の事業者が協働して行う**鉄道と海運へのモーダルシフト事業**

【1】商慣行の改善による物流効率化

- ・商品価格と物流費の分離による輸送効率、物流コストの改善を図る

【2】海運を活用したモーダルシフトの実施

【3】製造拠点の変更に伴う物流効率化

- ・内製化による生産拠点の集約化

【4】鉄道を活用したモーダルシフトの拡大

事業効果

CO₂排出削減量 **225トン/年**（335トン/年⇒110トン/年）

CO₂排出削減率 **67%**

調達物流費 **10%削減** 積載効率 **175%アップ**

《事業の趣旨》

(現状と課題)

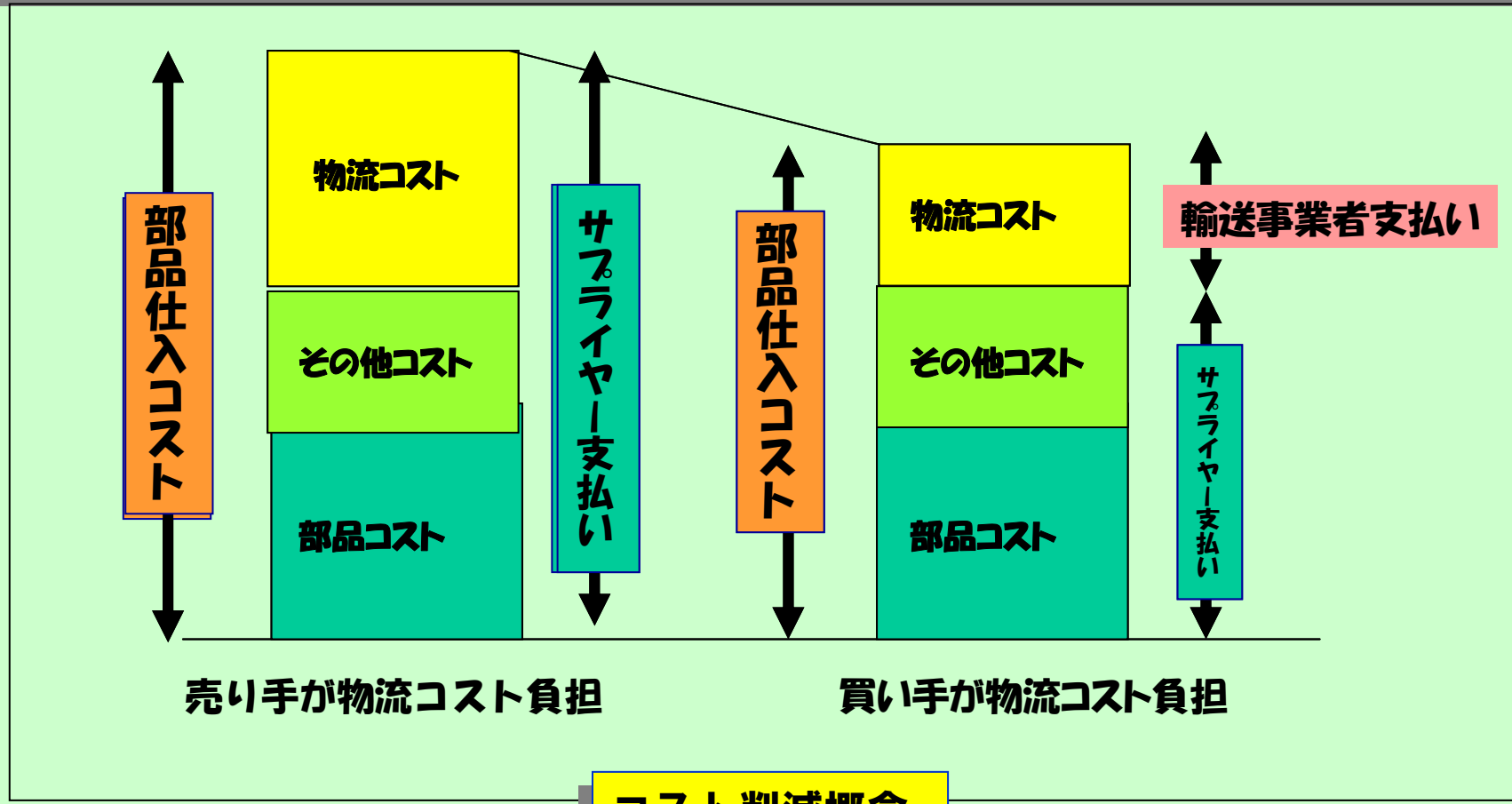
- ◆販売・調達物流が個々に管理されている
- ◆調達物流は売り手がコスト含めて管理している
- ◆荷主、物流事業者、納入業者単独での改善が難しい

(改善策) ポイント 商品価格と物流コストの分離

- ◆原材料調達から製品販売までの全体の管理をする
- ◆調達物流は買い手がコスト含めて管理する
- ◆荷主、物流事業者、納入業者連携共同による改善を実施する

《計画の概要》

◆商品価格と物流費の分離による輸送効率・物流コスト改善



物流コスト削減理由

荷主・物流業者・納入業者連携して、物流効率化を実施することによる

具体的事業内容

【1】商慣行の改善による物流効率化

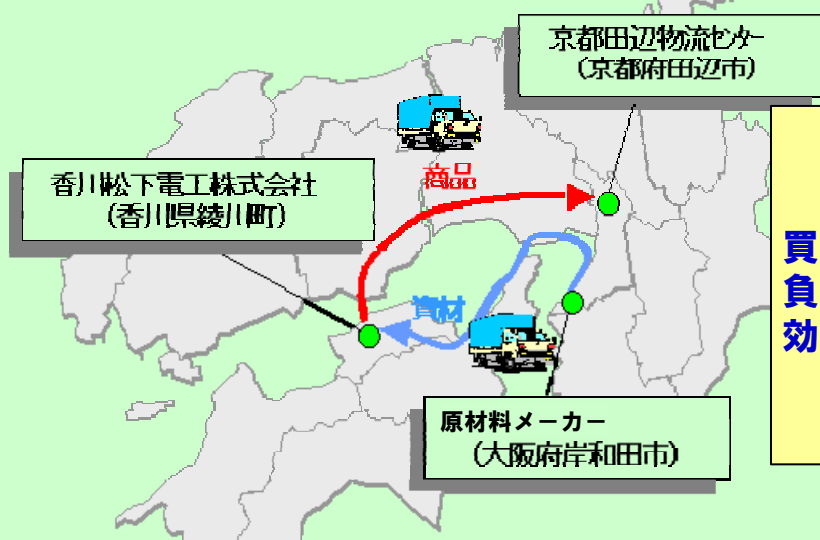
- ・ 商品価格と物流費の分離による輸送効率、物流コストの改善

【2】海運を活用したモーダルシフトの実施

- ・ 商品配達を大型トラックから海運にシフト
- ・ 帰り便を利用した資材調達（ミルクラン）

実施前

〔商品を届ける物流〕



物流コスト：原材料メーカー負担
(売り手が、製品価格+輸送費を支払う)

実施後

〔取りに行く物流〕



物流コスト：仕入れメーカー負担
(買い手が物流コスト支払い)

買い手自ら輸送費を負担することによる
効率的な物流に改善

具体的事業内容

【3】製造拠点の変更に伴う物流効率化

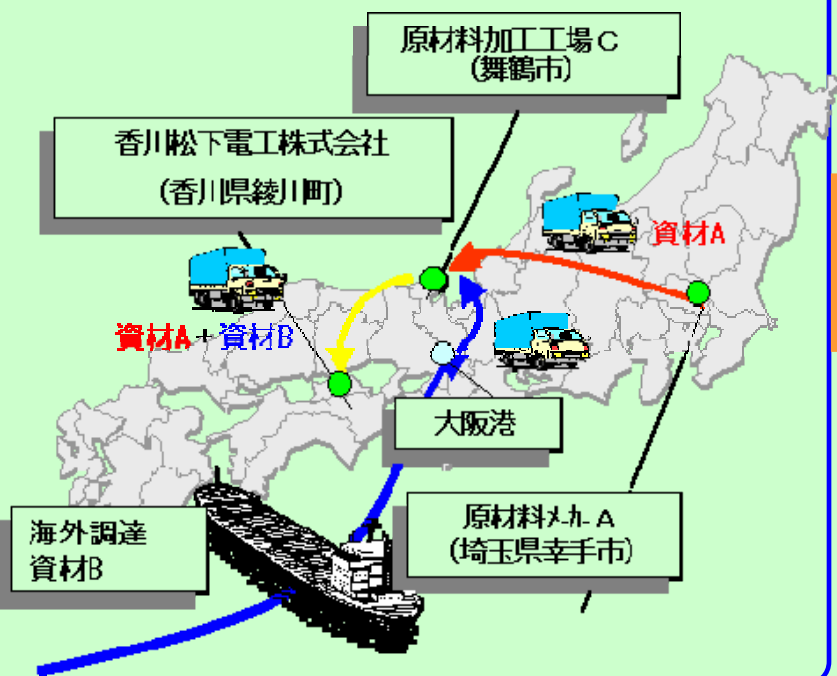
- ・ 部品加工の内製化による物流輸送距離の短縮

【4】鉄道を活用したモーダルシフトの拡大

- ・ 調達を大型トラックから鉄道輸送にシフト

実施前

〔大型トラック輸送〕



実施後

〔生産拠点集約化・鉄道輸送〕



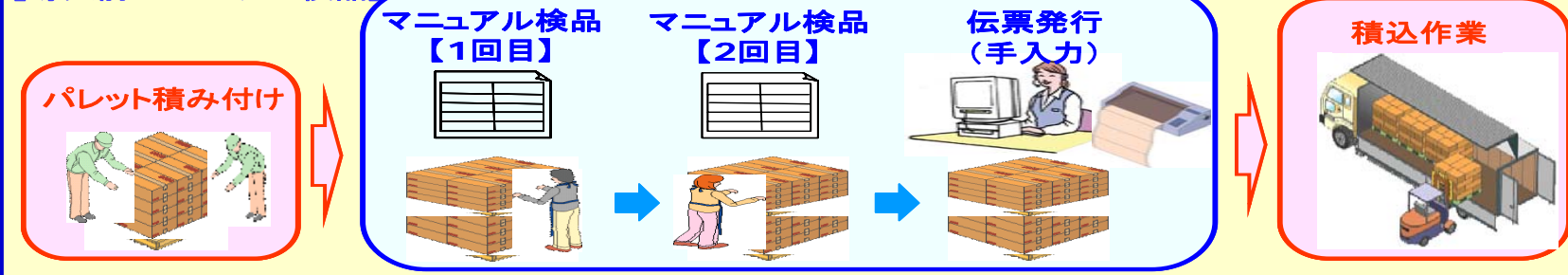
事業において特に苦労した点

◆ 商品価格と物流費を分離（商慣習を打破）して物流費の見える化を推進することに苦労した

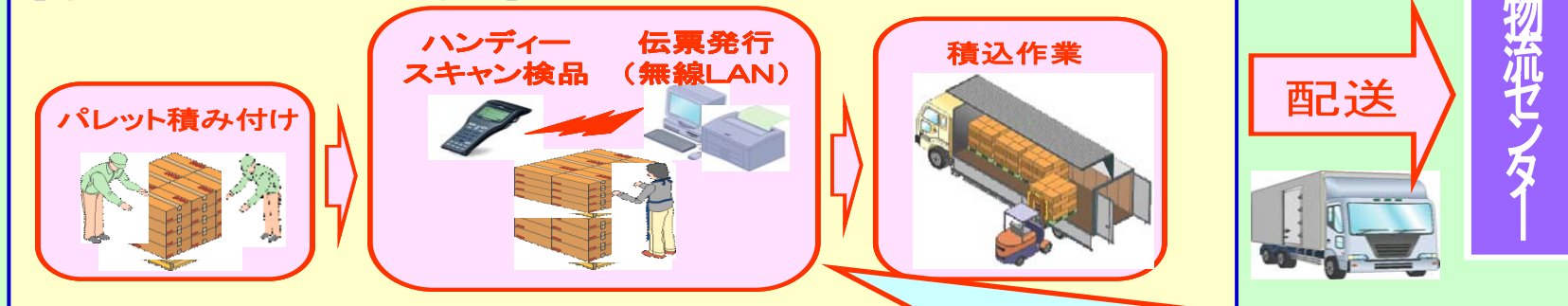
事業において特に工夫した点

出荷検品作業と検品完了後の伝票発行作業に多大な時間を費やしていた

【導入前：マニュアル検品】



【導入後：バーコードスキャン検品】



バーコード出荷検品システム導入により、商品出荷積込み検品業務効率化を図り、運行時刻を遵守することが出来るようになった。

今後のグリーン物流を推進するにあたっての課題

資材納入業者、荷主、物流事業者、販売業者連携による物流効率化。

キーワード

地球環境に配慮した物流システムの構築

調達・販売物流改革によるCO₂排出量の削減

これからは『物流は物流会社に任せていて、実態はよく知らない』では許されない！
荷主と物流業者が協働してCO₂排出量を把握し削減することが重要である

重点施策

- なくす へらす・・・総輸送量削減（梱包サイズの最適化）
- 替える・・・モーダルシフト・車両の大型化、積載率改善等
- まとめる・・・共同輸送等（異業種）・ミルクラン
- 燃費向上・・・ハイブリッドトラック、エコドライブ等

今後のグリーン物流の取組み拡大について

【1】 鉄道を活用した調達モーダルシフトの拡大

- ・ 調達を大型トラックから鉄道輸送にシフト
- ・ 他の原材料調達先への水平展開実施

【2】 海運を活用したモーダルシフトの拡大

- ・ 商品配達を大型トラックから海運にシフト
- ・ 帰り便を利用した資材調達（ミルクラン）
- ・ トレーラーシャーシ増車によるトラック効率化
- ・ 商品価格と物流費の分離による調達物流の推進

【3】 調達先・物流事業者との更なる連携強化

- ・ 低公害車導入事業者との連携
- ・ バイオマス燃料を活用した新たな輸送に挑戦



みんなで止めよう温暖化

チームマイナス6%

最後に

今後も

**「物流環境改善活動」を社会的責任として、
積極的に取り組んで参ります。**

香川松下電工株式会社